

第10回 議会改革調査特別委員会 会議録

日 時 令和7年4月23日（水曜日） 午前9時29分 ～ 午前10時30分
場 所 白杵庁舎議会棟 第4委員会室

出席委員の氏名

委員長 伊藤 淳 副委員長 梅田 徳男
委 員 川辺 隆 委 員 芝田 英範 委 員 安東 鉄男
委 員 甲斐 尊 委 員 平川 幸司

欠席委員の氏名

（ な し ）

オブザーバー

議 長 内藤 康弘

説明のため出席した者の職氏名

（ な し ）

出席した事務局職員の職氏名

局長 林 昌英 次長 小嶋佳希 主幹 原 伸行 副主幹 工藤真里子

傍聴者

（ な し ）

協議事項

1. 協議事項の整理について
 2. 議会だよりについて
 3. 議員間討議会について
 4. その他
-

午前9時29分 開議

協議事項

1. 協議事項の整理について

◎事務局（原 伸行）

（ 配布資料に基づき説明 ）

○委員（意見）

- ・議会生配信の拡大については、実施の方向で調整を行うのではなかったか。実施するのであれば、本特別委員会での議論にあわせて、議会運営委員会でも先例申し合わせの変更点の洗い出しが必要。また、ゴール地点を定める必要性もある。仮に12月定例会から生配信をやろうというのであれば、早急に生配信の方法など具体的な検討を進めて行く必要があるのではないか。

⇒委員長（伊藤 淳）

- ・第8回の会議で実施する方向で現在、事務局が情報収集を行うよう決定しているので、事務局で現在作業をしている。

⇒事務局

- ・生配信の拡大については、議会として実施の可否の最終判断は現状では行われていないと認識。本特別委員会もしくは議会運営委員会で決定が必要。決定するにあたって、他市の状況等、費用、メリット・デメリット等の資料を準備中。

⇒（川辺委員（議会運営委員会委員長））

- ・手順としては、本特別委員会で実施の可否を判断し、議長に報告した後に、議長から議会運営委員会に対して取り組むよう依頼され、それを受けて議会運営委員会が動き出すように考えている。ただ、スピード感をもって実現するのであれば、現段階で先例申し合わせの該当部分の洗い出し等の準備を行う。

⇒委員長（伊藤 淳）

- ・本特別委員会で判断した内容を議長に報告、内容に沿った先例・申し合わせの改正等を議会運営委員会で行っていくものと考えている。現在、資料を作成しているので、次回の本特別委員会で、実施の可否について判断するようにしたい。

○委員（平川幸司）報告

- ・議場コンサートの実施に向けての現状について報告。令和7年12月定例会で実施するよう西中学校合唱部と協議しているが、具体的な実施日は未定となっている。実施に向けての課題は、ピアノ（1台）の準備と生徒の送迎がでている。ピアノは準備にかかっているが、送迎については、これからという状況。正副委員長と事務局と打ち合わせながら、今後も進めて行きたい。

【協議結果】 ・議会生配信については、次回、実施の可否の判断を行う。

2. 議会だよりについて

①広報うすき5月号の掲載内容について

◎事務局（原 伸行）

（ 配布資料に基づき説明 ）

○委員（意見）

- ・議会だよりの「議案の賛否」の表の中で、「欠席」という表現の場合、病気で欠席した場合と自主的な退席が分かりにくいいため、掲載の仕方について検討してほしい。

②今後の取り組みについて

◎事務局（原 伸行）

（ 配布資料に基づき説明 ）

○委員（意見）

- ・常任委員会での活動の提案が複数あり、紙面が足りない場合はどうするのか。これまでの紙面を見てみると、議員ゼミナールの掲載は大切だと思う。

⇒委員長（伊藤 淳）

- ・常任委員会の活動をできるだけ掲載していきたいと考えている。梅田副委員長が編集の責任者として、掲載記事の選択、編集を事務局と一緒にやっていくよう考えている。

- 【協議結果】**
- ・令和7年6月定例会以降の取り組み方法、役割については、提案のとおり実施するよう決定。常任委員会委員長が掲載記事を提案し、梅田副委員長と事務局で編集、作成する。
 - ・掲載記事の選択は、常任委員会の活動を優先的に、また、掲載に偏りがでないよう配慮する。

3. 議員間討議会について

①今後の取り組みについて

◎事務局（原 伸行）

（ 配布資料に基づき説明 ）

○委員（意見）

- ・常任委員会の取り組みの部分については賛成できない。常任委員会が取り組んで検討している内容に対し、意見は言えないように思う。実施内容の報告程度に留めるべき。

- 【協議結果】**
- ・①ア議員全員で一つのテーマについて議論する取り組みを行う。
 - ・①イ常任委員会での取り組みの強化は、情報共有の場とする。

② 実施内容及びテーマについて（令和7年6月定例会）

○委員長（伊藤 淳）

- ・テーマ選定を行いたい。前回提案のあったテーマ（例）①少子高齢化②人口減少③学校統廃合④防災⑤食文化⑥パワハラ・セクハラの6つ以外があれば提案してほしい。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（伊藤 淳）

なければ6つの中から絞る形で選定したい。テーマ選定に関する各委員の意見を出してほしい。

○委員

- ・⑤食文化が良いと思う。（3名）
- ・⑤食文化に異論はないが、市民への浸透度が進まない点や魚が取れないような状態となってきた点、また、農業も、白杵市で1つの食材を作ろうとしてもその機運醸成も難しく、コメの問題もある。個人的には、③学校統廃合は白杵市が直面している課題なので、議員が敏感になっておく問題として行うのが良いと思う。
- ・賛成多数で決を採ってもらえば、それに従いたい。
- ・③学校統廃合は、教育委員会が全市的に取り組んでいるので、議員が取り組む内容としては慎重に進める必要があると思う。

⇒議長（内藤康弘）

- ・今でている③学校統廃合、⑤食文化の2つのテーマは重要な課題だと思う。⑤食文化については、一昨年、建設産業委員会が意見交換をした上で、市長へ提言を出しているため、その検証も必要だと考えている。また、③学校統廃合は、明日から、地域説明会の2回目が実施される予定となっており、市の提案に対し、賛否がある中で、議会内で議論することは良いと思うが、議論の結果などが、何らかの影響を与えることもあり得るので、直近に行うのであれば、⑤食文化をテーマにしていればありがたいと思う。

⇒委員（意見）

- ・⑤食文化についても、令和6年12月定例会の答弁で前市長が取り組めていない事項として取り上げたもので、新市長となり、新たな取り組みとなる事項かと感じる。新市長がこれから取り組む課題に対し、議員が提言等を申し入れることは避けるべきだと思う。

⇒議長（内藤康弘）

- ・今回の議員間討議会では、執行部への提言として取りまとめるのではなく、議会内、議員の持つ意見を出し合うことを目的として実施したい。

- 【協議結果】**
- ・テーマは、『食文化』
 - ・具体的な方法等については、次回以降検討

4. その他

○委員長（伊藤 淳）

・毎月1回程度は実施したいので、5月中に実施したい。具体的な日時は、事務局と調整し、別途お知らせする。

午前10時30分 閉会

白杵市議会委員会条例第30条第1項の規定を準用し、ここに記録を作成する。

令和7年4月23日

議会改革調査特別委員会

委員長 伊藤 淳